



アメニティ便りはこれまで毎月お送りしていましたが、事務の省力化と経費節減をはかるため、隔月（奇数月）の発行に変更させていただきます。ご了承ください。

お知らせ

- ・セミナー上期 第4回 7月12日（土） 草志舎 「旧ジョネス邸の保存運動」
- ・畑儀文の合唱教室 7月14日（月） 草志舎
- ・第4回神戸ワーキングホリデー 8月5日（火）～8日（金） ヴォーリズ六甲山荘
- ・コウノトリの郷との交流 9月7日（日） 豊岡
- ・セミナー上期 第5回 9月27日（土） 六甲山荘 「旧小寺山荘と私」

第4回 神戸ワーキングホリデー

トラスト・ユース・センターの活動の一つとしてこの夏ワーキングホリデーを次のように開催いたします。六甲山荘で寝食をともにして、山荘の保全作業を力をあわせて行う、これがワーキングホリデーです。

月日 **8月5日（火）～8日（金）**

場所 ヴォーリズ六甲山荘

募集対象と参加費 学生12,000円、一般17,000円
(食事、宿泊費、活動費に充当)



昨年の石窯装飾作業

この封筒に案内チラシを同封しています。会員からの参加大歓迎！メールでアメニティ便りをご覧の方はホームページをご覧ください。紙のチラシをご希望の方にはお送りしますのでご連絡ください。

<スタッフ募集>

ホリデーの期間中、活動をささえるスタッフを募集しています。作業の補助、送迎、食事の世話などホリデーを楽しく進行させる仕事です。どうぞご参加お待ちしております。

文化遺産継承協議会 実態調査を始めます

協議会では、文化財の保存をはばんでいるのは何か、それを乗り越えるにはどのような方策がありえるか、を体系的に研究することを目的にしています。そのためにまず文化財の実態を調査するため、アメニティ2000協会に関わりのある方々が所有する、あるいは所有していた建物について面談を行うことにしました。現在住んでおられるケース、保存されたケース、解体されたケース等、体系的に実態を把握するため、質問内容などを推敲し調査シートを作成しているところです。7月には第1回の面談を行います。

ご報告1 アメニティ・アカデミー セミナー 第2回 5月10日（土） 草志舎

会員で建築家の長瀬信博氏が「近代建築の魅力～近代建築の断面から読み取るもの」という題で、西洋建築の流れから現代にいたるまでを語っていただきました。建築を見るときポイントなどもわかりやすく説明され、なるほど！とうなずくことがなんどもありました。



ご報告2 2014年度通常総会 5月24日（土） 草志舎

出席者が少なかったのが残念でしたが、委任状のおかげで総会は成立。議案はすべて承認されました。総会のあと持ち寄りの料理でなごやかに会食し、楽しいひと時をすごしました。



ご報告3 ヴォーリス建築文化全国ネットワーク大会 6月7日(土) 関西学院
第7回の総会が関西学院大学神学部で開かれました。総会のあと武蔵豊岡教会から
保存の実例発表がありました。午後は意見交換会で懇親がはかられました。



ご報告4 英国ナショナル・トラストの旅 6月9日(月)～17日(火)

すばらしい旅でした。天候にも恵まれ、あざやかな緑と花盛りのシャクナゲ、色
とりどりの草花のアイランドとウェールズを堪能しました。立派な邸宅、広大な
お庭のほかにも小さな農家や岩をくりぬいた住宅などナショナル・トラストのプロパ
ティは変化に富んでいます。それにトラストの所有するホテルが最高で、皆さん大
満足でした。詳しいご報告は次号をお楽しみに。



NTのホテルにて

ご報告5 畑儀文の合唱教室 6月23日(月) 草志舎

5月が畑儀文先生のご都合で中止になりましたので、2月ぶりの教室でした。新しい曲もはじめました。

【コラム】

INTO 本部を訪問してきました

清水順子

INTO とは International National Trust Organisation (世界ナショナル・トラスト機構)
のこと、世界各国のナショナル・トラスト団体のまとめ組織です。本部はロンドンにあり、
世界46国の64団体が会員です。わがアムニティ2000協会は日本で唯一の会員です。

6月の英国ナショナル・トラストの旅のあと、ロンドンまで足をのびしてINTOの本部を
訪問してきました。古めかしいビルの一部がナショナル・トラストのオフィスで、INTOは
そのうち二つのフロアを占めているようです。(英国ではビルは縦割りに区分けすることが
多いのです) 応対してくれたのは Catherine Leonard さん。いつも INTO からのお知らせ
などをメールで送ってくださる方です。



小さな会議室で紅茶をいただきながら、アムニティ2000
協会のことをお話ししました。Leonard さんにはこやかに聞きながら「まるで100年前
のナショナル・トラストのようですね」とうなずかれました。INTOでお手伝いできる
ことはありませんか、いつでも言ってくださいという温かい言葉をいただいたのも嬉し
かったです。2015年9月には世界大会がケンブリッジで開かれるので、ぜひ参加して
くださいともお誘いを受けました。これはぜひ参加せねば!



ご報告6 アムニティ・アカデミー セミナー 第2回 6月28日(土) 草志舎

講師清水順子で「ナショナル・トラスト運動について」の話でした。今期のセミナー
のテーマである文化遺産を守るのに有効な手段の一つがナショナル・トラスト運動です。
本場英国と日本、諸外国の例をお話ししました。



六甲山荘・夏の作業

六甲山荘の庭の手入れなど、保全の作業をおこないます。

月日 7月11日(金) 31日(木) 8月18日(月)

作業内容 笹の始末、軒裏の塗装 ほか

夏でも涼しい山荘で気持ちのいい汗をかいてみませんか。お昼ごはんを作ってください方も募集しています。

トラストユース・センターのご報告

2014年度のトラストユース・センターの学生会員として新たに1名が入会されました。

上川真奈美さん

関西学院大学経済学学部2年

すでに入会の田中翔さん、田中里奈さんと一緒に、活躍が期待されます。

予告

第10回コウノトリの郷との交流

～～トラスト・ユース・センター・プログラム

コウノトリを育てるための田んぼ作りが人間にとってもおいしいお米につながっているなんて、人間はやはり自然の恵みで生きているのです。そのコウノトリの郷の田んぼで稲刈りをしましょう。稲穂は手にずっしりと重いですよ。

月日 9月7日(日)

集合 午前10時半 豊岡市立地域農業管理施設(豊岡市祥雲寺)

参加費 会員1,500円 一般2,000円

(昼食代含む、大学生以下は半額)

内容 午前・稲刈り

午後・コウノトリ観察

(コウノトリ文化館にて)

定員 10名



詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。

＜お薦めの本＞

菅田哲也著 「ドルチェ」

石津 和夫

六月の或る日、微醺を帯びてボンヤリしていたところ、突然読書感想文をとの電話。素面なら全くお受けしないはずなのに、何故か「ハイ」と返事をしてしまいました。趣味といえば残念ながら読書しかないありさまですが、その読書の対象は時のうつろいにつれて翻訳物～時代小説そして現在は警察サスペンス物といわれるジャンルに嵌っています。作家でいえば大沢在昌、今野敏、佐々木譲、笹本稜平、堂場瞬一、菅田哲也、横山秀夫等々です。これらの中からどの作品をといても、各々甲乙つけがたく、たまたま現在読んでいる「トルチェ」(菅田哲也著、短編連作)を取り上げます。

主人公は女性刑事魚住久江四十二才、独身、元警視庁捜査一課のエリートが何故か練馬署刑事組織犯罪対策課でくすぶっている。(本人は全く、くすぶっていませんが)何故そうなったかは、読んでいくうちに判明してきますが、それがまた本書を面白くしている一面でもあります。そして日常におきる事件は千差万別で、当初は何が事件なのかという感じのものもありますが、それらに対して、女性特有の細やかな感性で、事実関係の把握、犯人との対峙等を通して、紆余曲折を経ながら解決していくプロセスと、題名の「ドルチェ」のように決して甘くはなく、さりとてものすごくビターでもない終局が得もいえないカタルシスをもたらしてくれます。また人物像(加害者、被害者、善人、悪人、上司、部下、同僚等々)の設定、組み合わせが絶妙で、登場人物の各々の葛藤も程よく描かれており、人生捨てたものではないというホッとした感覚が、汗をかいた後のビール一杯といったところです。一読も一興かと思えます。

(新潮文庫)

予告2 2014年度セミナー～「わたしたちにとって文化遺産とは」 <文化遺産継承協議会発足記念>

アメニティ・アカデミーの第V期セミナーの7月は森本アリさんが旧ジョネス邸の保存運動について話をされます。森本さんは会員の森本康代さんのご子息で、ご家族で旧グッゲンハイム邸を保存・運営しながら、塩屋の町並み保存にも活躍しておられます。

7月12日(土) 旧ジョネス邸の保存運動 講師 森本アリ(旧グッゲンハイム邸運営)

9月27日(土) <ヴォーリズ六甲山荘築80周年記念事業> 旧小寺山荘と私 講師 森野郁子(六甲山荘旧所有者)

*いずれも午後2時から。講演のあと懇談の時間をもうけます。

受講料 : 1回につき 会員2,000円 一般2,500円

定員 : 20名(定員に達し次第締切ます)

会場 : 草志舎、第5回はヴォーリズ六甲山荘

◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

「アメニティレポート2013年度」感想 —旧乾邸にまつわる思いを中心に—

常陰 朗雄

ここ数年、仕事や家庭の事情でなかなかアメニティ2000協会の行事に出席が難しく、活動状況をアメニティ便りや新聞記事で知るのが普通になってしまいました。そんな私にとってアメニティレポートは一読して年間の活動が分かるので、楽しみにしています。

さて送って頂いたレポートの最新号をパラパラとめくっていたところアメニティ・アーカイブスに旧乾邸の保存活動について特集記事が。

その特集記事には私の参加記も再掲載されていて照れくさかったのですが、当時アメニティ2000協会が歴史的建築物の保存活動を本格化する黎明期にあったことをまざまざと思い出しました。あの参加記を書いてから数年が経過し、自分が行政の現場で地域おこし活動の支援を行う経験もして、改めてこれらの活動を継続することの難しさを感じています。そういう意味で旧乾邸の保存活動はスタッフがスクラムを組んで見事に継続し切った事業と言えるでしょう。

ふと思い出すのは、まだ旧乾邸に出会うよりも前の2001年、アメニティ2000協会の行事で京都府美山町(2006年に合併して南丹市)を訪ねた時の一幕。茅葺の家々を地域で保存し、その一角で週末毎に地元自治会の方々によって、

見学者向けの食堂経営をされる姿に感動をした覚えがあります。年に一回程度ならば難しくはないかもしれない。しかしそれを定期的に行うことの難しさ。この茅葺屋根の町並みを保存していきたい、またそれを地域おこしとしてやっていきたい、その熱い思いに打たれたのでした。

しかし気が付けばアメニティ2000協会も旧乾邸の保存活動においてはこれだけの継続を行って一つの成果を上げており、またヴォーリズ六甲山荘の保存にもその活動は見事に引き継がれています。10年以上の活動の中で、アメニティ2000協会の成長の軌跡が伺えます。

2013年度はトラストユースセンターが設立され若者の養成に着手し、また2014年度はいよいよ認定NPOへの申請も行うとのこと。活動の基盤がますます強化されることを知り心強く感じました。また改めて家族連れで参加させて頂きたいと思います。



旧乾邸でガイドをする常陰さん(左)

認定NPOへの申請を行いました

かねてより準備してきました認定NPOの認可を受けるための申請が無事完了しました。6月中旬に兵庫県庁で書類を提出し、30日に正式に受理したとの連絡がありました。膨大な書類を整えるためにプロジェクト・チームの皆さんが数字と格闘し、県庁に何度も足をはこび、ようやくここまでこぎつけたものです。谷本雅憲さん、志水英生さん、中村忠夫さん、お疲れさまでした！ 今後は県庁からの質問に答え、現地調査を受ける期間がしばらく続きます。いい結果になるといいのですが・・・楽しみに待ちましょう。

六甲山荘に泊まりませんか

夏は六甲山の別荘で過ごす・・・これが戦前の阪神間の大家のスタイルでした。クーラーのない時代、下界より5度は涼しい山の上で夏をやり過ごしたのです。皆さんもそんな夏の過ごし方はいかがですか。六甲山荘には会員とその家族なら宿泊できます。夜は窓を閉め切るほどの涼しさ、ほの暗いリビングでもおしゃべり、小鳥の声を聞きながら食べる朝食・・・泊まってこそ味わえる山荘の醍醐味です。

1泊 会員 3000円 非会員の家族 5000円

小学生以下は半額

定員 6名(ベッドルーム 2名×2部屋、和室2名)

食事は外食あるいはあの台所で自炊です。

なおお申込みは1週間前までにお願いいたします。

<宿泊スタッフ募集>

宿泊客のあるときに山荘に泊まり込んで、お客の世話と山荘の管理をするスタッフを募集しています。

会員のペア(ご夫婦でもお友だちでも)でお申込みください。

誰にでもできる簡単な内容です。どうぞ挑戦してみてください。

《六甲山荘と同期生の名建築を阪神間にたずねる～その3》

《旧ジェームス邸》 所在地：神戸市垂水区塩屋町

イギリス人A. N. W. ジェームスによって建てられた洋館。ジェームスの死後三洋電機の創始者井植歳男が購入した。高台に建ち、瀬戸内海を見晴らすこの建物を井植は故郷淡路島をしのいで「望淡閣」と名付けた。設計は竹中工務店の早良俊夫。

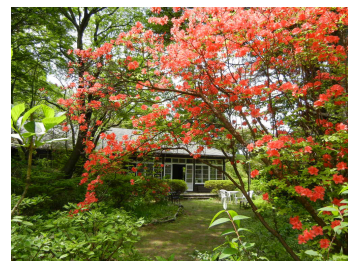
外側はスパニッシュ・ロマネスク調で重厚にまとめられている。内部の作り付けの家具やマントルピースなど材料、細工とも見事。塔に上がるらせん階段のアイアンワーク、屋上に敷き詰められた色彩豊かなタイルなど、細部にいたるまで贅をつくした、神戸を代表する大邸宅と呼ぶにふさわしい名建築である。神戸市指定文化財。現在は結婚式場やレストランとして使われている。



六甲山荘たより

5月、6月の六甲山荘

5月の連休はさすがに人出が多く、石窯ピザも焼いてにぎやかな日々でした。そのあとも順調に続いています。シャクナゲの次はミヤコワスレ、ヤマツツジ、コアジサイと花も次々と咲き、これからはアジサイの季節です。シチダンカも咲き始めます。花と緑の六甲山荘へ皆さんをお誘いください。



六甲山荘のスタッフ募集

いつもお願いしていますが、六甲山荘の運営にかかわるスタッフはすべて会員のボランティアです。公開中の受付、販売、喫茶、ガイドのスタッフを別紙で募集しています。誰にでもできる内容ですので、初めての方もぜひ一度トライしてみてください。

また山荘のランチに使うドライカレーもみんなで手作りしています。その作業にもご参加お待ちしております。

講演会のご案内

日本美術教育学会学術研究大会での記念講演のご案内です。学会とはいえ誰でも参加できる講演会で、会員の前田豊稔さんが司会をされます。

題 「自然を生かした建築の作り方」
日時 8月8日（金）午後2時～3時15分
講師 藤森 照信氏（建築史家・建築家）
場所 関西国際大学 尼崎キャンパス
（尼崎市潮江1-3-23 JR 駅から直結、徒歩5分）
入場料なし、事前申し込み不要

募金のご報告～4月5月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

*六甲山荘ナショナル・トラスト募金

《4月5月合計177,500円

2014年度累計177,500円》

*教育募金

《4月5月合計15,000円

2014年度累計15,000円》

特定非営利活動法人 アメニティ 2000 協会
TEL・FAX0798-65-4303 携帯 080-3138-4164

事務局 西宮市北昭和町 3-20
Email soshisha@f6.dion.ne.jp

ナショナル・トラストの旅の思い出



アイルランド カンターク城の廃墟



NT ポウイス城と庭



NT 岩盤をくりぬいた家



NT パックウッドハウスの庭